

## 第30回策定委員会開催概要及び議事録概要

件名	第30回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会	
日時	平成22年 1月19日（火） 18：00～19：40	
場所	市庁舎北棟 6階第22会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、木内喜久子、國領弘治、阪本昌彦、笹部和男、佐藤真理、高杉美根子、田中啓義、田中幹夫、古海忍、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、渡邊信久 (郡寫委員長、坊委員、山口清和委員、吉田隆一委員は欠席)
	事務局	岩井部長、西村次長、息田次長、仲参事、糸岡課長、吉住課長、大谷補佐、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、川内
	コンサル	館田剛志、大木雄介
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料62	第29回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）
	資料63	ごみ焼却施設の候補地選定について
<b>会 議 内 容</b>		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第29回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局(森嶋)	● 今回は奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第30回目の会合でございます。委員会開会にあたり、岩井環境清美部長より御挨拶を申し上げます。
岩井部長	「部長挨拶」
事務局(森嶋)	● 本日の出席状況ですが、委員総数22名の内、13名御出席頂いており、本日の委員会は成立していることを御報告申し上げます。尚、郡薦委員長、坊委員、吉田委員に於かれましては、ご欠席される旨の連絡を頂いてます。
	議事の進行は渡邊委員長代理にお願い致します。
	1. 議事
渡邊委員長代理	● 今日は第30回ですが、前회가11月13日で非公開で行いましたので、その中身の話を詰めていくと、今日の公開の場で、全容が外に出ることになると思います。
事務局(森嶋)	「資料の確認」
	(1) 第29回策定委員会議事録概要版の確認
渡邊委員長代理	● 議事録概要版ですが、訂正等ありましたでしょうか。
事務局(森嶋)	● 事務局の方には、現在のところ、特に頂いておりません。
渡邊委員長代理	● 訂正、特になければ、会議途中で気付いたことがあったら、ご発言頂き、終わった時点で自動的に承認とさせて頂きたいと思えます。
	(2) ごみ焼却施設の候補地選定について
渡邊委員長代理	● 前回11月13日ですが、最終的な重み付けまで決めると順位が決まりますので、非公開でやらせてもらい、4地点を選定致しました。どのように選定したかは、議事録概要版と資料63に事細かに書いてます。11月13日に重み付けを全て決定してから、候補地の選定状況についても奈良市長に報告して、11月20日金曜日に記者発表をしております。その後、5紙の新聞に載ったと聞いてます。奈良市役所に対して何かありましたでしょうか。
事務局(吉住)	● 新聞報道されてから、奈良市施設課へ、市民の方から電話で、問い合わせが2件ございました。候補地周辺の住民の方と考えます。主な内容は、「誰が候補地を4カ所に絞り込んだのか、なぜ候補地が4カ所東部地域に集中したのか、候補地を絞り込むまでに、なぜ地元住民との話し合いをしなかったのか。決まってからでは遅い。決定するまでのプロセスが大切では。」ということ。また、「この地区は道路問題が重要な課題」ということと、「今後地元に対してどう対応をしていくのか」といった御意見があり、策定委員会に伝えておいて下さいとのことでした。
渡邊委員長代理	● 前回、最終的にどのような形で、重み付けを決めて、順位を決めたか資料を用意して頂いてますので、説明をして頂いて、公表資料としてブラッシュアップしていきたいと思えます。

<p>事務局(吉住)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ごみ焼却施設の候補地選定についてについて説明」(資料63) <ul style="list-style-type: none"> <li>・重み付けは、A案を中心に議論し、小項目の重み付けを検討していく中で、バランスを勘案して、A案を一部修正し、環境への影響度50点、中項目として生活環境35点、自然環境15点、経済効率30点、用地取得の難易度20点に決定。</li> <li>・小項目 住宅の近接状況15点、施設配置の制約5点、道路交通への影響10点、市民持ち込みの利便性5点。土地利用の現況7点、用途指定の現状8点 施設整備にかかる費用10点、維持管理・収集運搬にかかる費用15点、廃棄物処理があることによる影響5点、土地の所有者数5点、候補地の応募状況15点に決定。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">評価項目の基礎評価点と重み付けを掛け合わせ、総合評価点として整理。</p> <p style="margin-left: 40px;">③-4が321点、⑤-1が356点、⑥-1が460点、⑥-2が482点、 ⑧-1が310点、⑧-2が298点、⑨-1が410点、⑨-2が405点、 ⑩-1が270点。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価点から、⑥-1、⑥-2、⑨-1、⑨-2の4カ所を選定。</li> <li>・11月20日に記者発表。</li> </ul> </li> </ul>
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料63の左側のページに表があり、評価項目の重み付けで、3種類。A案、A´案、B案。それぞれ生活環境重視か、生活環境と自然環境のバランスを重視か、環境全体を重視か。ここから決めていこうと話し合いをした結果、A案を中心に議論をするようになり、生活環境を重視と。結果的に用地取得の難易度を削って、生活の方を大きくしたいと。A案の修正でどうなったかという、この生活環境の部分が、住宅の近接状況が15点、施設配置の制約が5点。道路交通への影響を10点、市民持ち込みの利便性を5点、土地利用の現況を7点、用地指定の現況を8点と決まった訳であります。生活環境の部分が35点、自然環境の部分が15点になりました。資料63の1ページの表は、AとA´とBは、右側少しスペース空いてますので、決定された数字が入った方が見易いと思うので、工夫して頂けませんでしょうか。</li> </ul>
<p>事務局(吉住)</p> <p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今回の資料は、HPとか広報広聴課の方で公開となりますが、その資料は、ご意見頂いたように結果を横に付けた表で対応したいと思います。</li> <li>● この重み付けの数字が、大項目、中項目、その後小項目まで決まり、7段階評価で付けた数字と掛け合わせて足す操作をしたものが、資料63-2の表と図です。総合評価点の集計表で、重み付けをして掛け合わせて足したものが、この右側の表ですが、これを棒グラフにしますと、一番高いのが⑥-2で482点、2番目が⑥-1で460点、それから⑨-1、410点、⑨-2が405点と。そこからぐんと下がって356点の⑤-1が続く形になってます。上2つを選ぶか4つを選ぶかは、悩ましかったことで、この時には、4カ所にしておいて、地元の人との話し合いで1カ所に絞り込む方がいいと。理由は最重要項目である、地元住民の理解度は十分な話し合いをしないと分からないので、この上の2つだけにしてしまうと危険なので4つにして、話し合いをしながら考えていこうということです。</li> </ul>

事務局(吉住)	<p>この後どういう風に進めていくかは、道路の話になっていきそうな雰囲気ですが、申入書から説明頂きたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「奈良市ごみ焼却施設移転候補地の選定に関する申入書」について、概要を説明させていただきます。今年の1月14日に策定委員会宛に奈良市東部地区自治連合協議会から申入書という形で提出して頂いてます。主な内容は、「この度策定委員会で、新施設の移転候補地を奈良市東部地区の4カ所に絞り込んだ旨の報道発表がありました。東部地区自治連合協議会としては、平成19年12月に奈良市長宛に主要幹線道路である国道369号線や県道奈良笠置線等の道路改良整備に対する意見書を提出させて頂いてますが、今回の発表では道路問題について、何ら考慮されていないように思われます。東部地区住民にとっては、現在でも生活道路の確保は非常に課題であり、今回選定された4カ所の候補地は、2つの理由により、生活道路の改良整備に取り組まれることが必須条件であり、東部地区と市街地を結ぶ4車線道路の整備が完遂されない限り、新施設の移転候補地の選定に断固反対します。」というご意見です。 <p>詳細に説明させていただきますと、一点目は、東部地区の生活道路の確保について、「東部地区から市街に通じる生活道路であります国道369号線は、朝夕非常に停滞が発生して、日常生活に支障をきたしている。加えて、施設建設がされれば、ごみ収集車などの車両が増加することによりマヒ状態になってしまう恐れがあります。」また過疎化に対する問題で、「若い世代の都市への流出により、過疎化が加速している」ということで、「道路事情がさらに悪化すれば、より一層の拍車をかける一因となることも想定される」ということが、主な趣旨です。</p> </li></ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12月に報道発表があったと。但し、19年末の段階で市長あてに道路に関する意見書を提出したけども、今回の発表では入ってないと。道路の改良整備に取り組まれることが必須条件であって、そうじゃないと断固反対するという内容ですね。</li> </ul>
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成19年の段階では田原地区につながっている能登川のところも含まれていた気がするのですが、今回369号線だけが、4車線化という要望が上がってるんですが、どうして能登川の方が、今回はないのか確認させて頂きたい。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 19年12月に出された時には、15カ所の候補地区を選定したのですが、そのうち田原地区で候補地が1カ所、⑩-1がありました。今回9カ所から4カ所に絞り込みされ、⑩-1は、候補地から除外されたので、県道奈良名張線は、削除して申し入れされたと考えてます。</li> </ul>
三浦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6連合自治会の中に田原地区、月ヶ瀬地区、入ってますね。名前が東部地区自治連合協議会という形で上がってる訳ですから、各候補地の連合会だけでなく、6連合自治会が、東部地域としてこの問題は考えていきたいということでしょうか。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 該当地域の自治連合会だけでなく、基本的に東部地区連合協議会として対応したいという趣旨で出されたと考えてます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申し入れる側は、奈良市東部地区自治連合協議会会長が頭で、田原地区、柳生</li> </ul>

事務局(吉住)	<p>地区、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬、全てがこの候補地区のそばという訳ではないけども、みんなで道路について申し入れを行っている状態ですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路問題は、各自治連合会単体での課題ではなくて、奈良市東部地区自治連合協議会として、生活道路も含めて、地域の活性化とか過疎化を共同で考えられているという趣旨で、連合会として申入書を提出されたと理解しています。</li> </ul>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申入書は、候補地になった住民の方からお叱りを受けたということですが、我々としては、奈良市のどこかの場所に焼却場を造らなければいけませんので、客観的な条件の中で、どこがよりふさわしいのかふさわしくないのかを絞って候補地を作るということが、第一段階。第二段階は、絞られた候補地について具体的に、その住民の方に、どのように理解を得られるのか、どのような状況を整備するのが第二段階。第一段階での相対評価の中に、道路交通への影響だけでなく、住宅の近接とか、候補地の応募状況とか評価項目があり、総合評価で客観的に、第一段階をさせて頂いたというだけなので、第二段階の候補地になった住民の方の理解のための条件整備が残っています。申し入れのような、住民の方の意向を汲んでやっていくということなので、順序としては決して間違っていないと思っています。これからの作業で、道路については、候補地になった住民の方と委員会と一緒に、どこまでできるのか。精力的にやっていかなければいけないと思っています。熱心に議論することが必要ですし、調査・検討は、候補地になった地元の方と一緒に研究会か部会か立ち上げて、委員会のメンバーと候補地の住民の方と一緒に方向で努力していくことが必要になると思います。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路交通への影響の比較を一応やったんですが、参考資料1にあるように、混雑度は客観的に判断したつもりですが、こういう申入書を送られた訳です。この申入書を頂いた地元の方々と道路について、全て共同でやるのも、難しいかもしれませんが、今まで道路の整備、改善については、交通量の調査データを元に、混雑度が増えるとか増えないとかやってきたんですけども、どのような改善ができるかは議論してなかったように思います。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前回の時に非公開にしたのは、隠すことがあるのじゃなく、マスコミの方に先に知られたらまずいので、非公開にしたんです。私達は、道路問題については、まだ東部に決まっていなくて、要望は受けたけれども、公に結論を言うのは早いということで止めましたから。発表の文章にそれを書くことを、私も全く忘れてました。自治連合会の方々から、正にその指摘を受けたんです。要望書に対する回答が当然あって然るべきと思われるのも、無理ないと思いました。そこで急遽発表文を作り直した上で20日に記者と会って、そのことを大分強調したんです。ところが新聞読みますと、その所何も書いてません。私達は、地元から要望がありましたので、検討したんですが、公表できない段階ですから、暖めておいた訳です。今後は、調査したのを、もう一度し直すという意味で、地元の方々と一緒にやるという方針で、臨んだらいいと思います。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成19年の申入書は市長宛で、今回は、委員会宛なんです。この文章では、上</li> </ul>

吉岡委員	<p>から10数行目で「下記理由により生活道路の改良整備に取り組まれることが必須条件であり・・・」と書いて頂いてますので、要は取り組みなさいということもおっしゃってる訳です。今後、どういったことができるか改善に向けて、我々も努力をすることによって認めてもらえるかなという印象です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 6つの連合会、結束固くて、今回のごみ焼却施設の問題だけじゃなく、他の問題についても、一致団結して取り組んでいこうということです。19年の12月19日もそうでしたけど、田原の方がいないから、降りたということじゃないと聞いてます。意見書が藤原市長宛に出まして、委員会としても、9つの地点があるから道路問題だけを特別にやりだすと最初から東部を決め打ちとなつてはいけなないので、道路部会で検討はしてきてますが、改めて東部の4地点を候補地にした上で、今回申入書が出てきたので、この委員会で、道路問題に取り組んで、テーブルに着いて頂く話し合いをしていくと。住民の方々の意見を聞いていくというステップを踏まざるを得ないと思ってます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 15地点あった時点では、この4カ所に絞り込む前は、③-4とか、⑤-1とか、西部とか南部も候補地あったので、道路に関する調査としては、今回の参考資料1のように、交通量データに、パッカー車が何台載ったら1.2倍になるとか調査をただけで、国道369号線、県道奈良笠置線に絞って議論とか調査は、今までしたことがないと思うので、今後ここに絞り、進めていきたいと思えます。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的には、道路問題に限った勉強会や部会的なものを作り、そこに地元から委員として参加して頂くということで、一緒にやったらいいと思えます。規約上、部会を作るということがなければ、規約を改正する必要がありますね。住民参加で委員会を作る場合に、地元の方のご希望であれば、地元の方が信頼できる学識経験者とか弁護士さんを、雇ってもらってもよろしいよと条件を入れた方がいいと思えます。</li> </ul>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元の方々の道路に対する色々意見とか要望を聞くことは差し支えはないと思えますけども、委員会に地元の方に入ってくれというのは、酷な話と思えます。今の段階では少し見合わせた方がいいと思えます。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路問題についてだけの学習会に参加して頂くという意味です。施設に対する賛否とは別の問題です。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路部会を作って、色々な検討を頂いて、整理させて頂いている資料がございますので、これを元に検討頂くのと、道路部会の方から、拡幅改良の可能性をもう少し具体的に検討する必要があるというご指摘を受け、平成21年度で調査委託をして、検討資料を整理している途中であります。概ね固まってきた時点で、資料も整理し、皆様のご意見を伺いながら、地元の連合会の方に、ご意見を伺う機会を作って頂ける対応を検討頂けたらと思えます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成21年度の調査として現在こうなっていて、それが369号線の改善につながる可能性もあると期待してもいいんですか。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 整理途中ですけども、国道369号線は、奈良県が管理している道路で、拡幅する</li> </ul>

<p>渡邊委員長代理</p>	<p>とすれば、県の単独費用では対応しきれないので、国の補助を受けた道路造りが必要になってきます。補助対象の要件整理をしなければなりませんので、必要なデータの整理をしているところであり、費用対効果が上回らなければ、できませんので、ご検討頂き地元の方に説明しながら協議していく進め方で、今後いつて頂ければと考えてます。</p>
<p>吉岡委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路問題について道路部会で、検討を含めて、この委員会で申入書に対して、対応がどれ位できるのかこれから進めていくことで、その対応を見て頂いて、地元から、話したろかというふうに言ってもらえればいいんですかね。</li> </ul>
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状では無理だと思います。ハードルは高くても固いですが、どこまでやるか検討はして、同じテーブルについて頂く方向で、進めるべきだと思います。</li> </ul>
<p>渡邊委員長代理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こちら側が理論武装していくと、返って専門用語使ったり、数字で出てくるでしょ。それだけでも地元の方は、話ができ難くなって、話したくなくなる。何らかの形の研究会ということ言ってるんですよ。6連合自治会の方、どうい話合いが一番望ましいかを、吉岡さんに聞いて頂いて、地元が望む方向の話合いのルールを作られ、そのルールに従って私達が動く方がいいと思います。</li> </ul>
<p>田中(啓)委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 僕も、この調査で369号線で増加率が1.1なんですよね。1.1で、車が市の中央部に行くまで1時間かかるというのは日常的であると申入書には書いてあるんですから、地図を見たらそう遠くない訳で、どういうことか訳分からんところがあるので。何が大きな問題かは、我々もよく理解して、一緒に何ができるか準備して、これから見ていこうと思います。</li> </ul>
<p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の方とどういう風に対話するかということだと思んですが、こちら側が説明側で、説明の相手というだけの位置付けだと、ダメだと思うんですが、同じ委員の立場だと苦勞を強いてしまうという部分もあると。初めは説明に行って、意見を聞いて、今度こんな専門家が来るから、一緒に聞きに来ませんかとか。初めから委員や説明の相手にするのではなく、説明しながらファジーな環境を作り上げながら、一緒にやっていく大勢を作るしかないんじゃないかなと思います。</li> </ul>
<p>佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物の道理としまして、これを何らかの形で受け取りましたということ、文面で持っていかないかん。あの道路あたりは、30年も40年も前からあの状態で、道路の使用状況とかも踏まえて、あの辺を夕方5時ころ帰るときはいっぱいになるから、7時になるまで待つてから帰ってこようとか、5時ならんうちに、あそこを抜けなあかんとか、私達もやってまいりました。私どもは処理場をあちらへ持って行こうと思たら、回答をお持ちするときに、一緒に歴史的な背景の話もしながら、私どもは、皆様の場所へお世話になろうと思ってる時にこういう問題を頂いたんですけどもと言いながら、県の方も話をしてもらおうとかしながら、両方で、道路の問題で訴えていくという形で、何らかの形で答えを返しにいかないかん訳ですから。がんばって共闘しましょうという考案はいかがでしょうか。</li> </ul>

4車線道路の整備が完遂されない限り、新施設の移転候補地選定に断固反対します。」と、かなり強い調子だと指摘をされましたが。そういう表現にはなっていますが、二つの面があります。確かにかねてより、東部地域の念願である4車線道路の整備ということ、この際強く更に打ち出していると。それがダメな場合は反対ですよとあるんですが、逆に言うと他の問題点の指摘は、ほとんどないと言っていいんですね。その道路さえというのが中々難しい訳ですけども、こういう問題が起こる以前からの念願の問題をクリアされれば、こちら側が今まで進めてきた選定の方法についてクレーム付けてる訳ではありませんから。4カ所絞られたのが、東部地域になりましたので、そこに受け入れてもらう。受け入れてもらわなかったら、これまた作業が一からやり直しになりますから、この委員会としても、何が何でも、東部の方々の要望に沿うような形での活動が非常に重要だと。東部の方々はそれが最大の条件ということですから、その点では一致する訳です。それをどうやっていくのかということです。当初、対象地域ある程度限定された段階で、そこから委員を出して頂きましょうという話でしたけれども、今の段階で若干名入ってくれと言っても、無理で入れないと。研究会とか言われましたけれども、色んな形で接触を持っていかねばなりません。すぐに共闘できるとはならないでしょうけども、奈良市の担当部局にも、県にも国にも要請する必要が出てくるし、そういう場合に、一緒に行動することにもやがてはつながるだろうと、一緒に最初からやりましょうというのは無理でしょうけども、進め方としては、先程の議論でいいと思いますが、この申入書の中身は、こう見たらいいんじゃないのかなと思います。

事務局(吉住)

● 佐藤委員からお話があり、基本的に道路問題を解決したらいいですよというニュアンスに受け取られて、この申入書は、策定委員長宛なんですけど、私ども事務局が東部地区連合会の方から受け取り、色んなご意見も、時間を割いて伺いました。趣旨はペーパーに書いてる通りですけども、地元としては、東部地区にごみ焼却施設を持ってくることは基本的に反対という趣旨のことをおっしゃいました。道路問題を解決なしに、候補地選定の話には同意できないとおっしゃって頂いて、道路問題の解決が先にして頂きたい話ですということです。地元の役員の方ですが、地元からは要望書出してるのに、対応が表面的に出てこないということで、地元の方からおしかりを受けているという趣旨のご意見もご発言されましたので、道路問題が解決されたら全てOKですというニュアンスは、私は受け取れなかったということです。

田中(啓)委員

● これからの委員会の持ち方ですが、この道路問題は、一番大きな問題で、これについて研究しながら、意見交換しながらやっていくと。委員会、毎回その問題だけに費やすのではなく、もう一つの柱として、あるべき施設をどうするかという議論もしていくべきだと思います。嫌悪施設から地元が誇れる施設と。色んな各地で見ても、今の奈良の焼却場は、古いので決してきれいではないというのが、あろうかと思うんですが、最近建てられた焼却場は、非常にきれいで、街造



	<p>りだとか配慮し、安全・安心な施設として造っていると思うので、循環型社会に適した施設を造っていく積極的な面も研究する時期じゃないかと。何が反対なのかも、ご理解頂くという意味で、時間を割いていってもいいんじゃないかと思えます。</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どんな施設とかどういうごみ処理の方式かですけど、事業仕分け云々も、皆さん、社会の流れつかんでると思いますが、処理施設も福岡と大阪の舞洲が頂点ぐらいで、それ以降少し質素な造りになりつつあります。大阪の岸和田貝塚は、きらびやかな造りになってますが、最新の工場などは、見た感じの美しさよりも、無骨だけど、少しコストを下げて、長く続けられるということに、変わっていくと思えますので、たまには勉強会してもいいと思えます。</li> </ul>
	<p>只、道路問題を棚上げにして、リサイクル施設のことはできないので。平成21年度の道路の調査に関することと、国道の整備のどういうことができるかを次回、話を進めていきたいと思えます。</p>
事務局(吉住)	<p>スケジュール的に、次は3月5日金曜日ですが、そのとき、話できるんですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3月5日の時は、以前道路部会で整理させて頂いた概要を説明させて頂くのと、21年度の調査結果を整理して、こういう状況になってきましたと、道路部会以外の委員さんは、どういふ検討を進めてきたか、ご理解して頂きにくいので、道路部会の資料から順番に説明させて頂けたらと。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3月5日は道路部会と、平成21年調査がどのくらいまとまるか分からないけど、少し頭出しまでいけたらということですね。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● その議論にまだ入る必要ないと思うよ。地元の方とどういふスタイルで話し合いをするのが大事ですから。吉岡さんに尽力頂いて、地元の方とお話して頂いて、どういふ形式がいいのか詰めをして頂いて、それから後、検討したことをここで議論しないと、時期尚早やと思えます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吉岡委員、どうですかね。ご尽力は頂きたいのですが。</li> </ul>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 舞台をこしらえる努力をするのはやぶさかではないのですが、委員会として動く訳ですから、委員会として動く体制をして頂かないと、やりにくいと思えます。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それをこれから議論したほうがいいのかと違いますか。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路問題について、道路部会でかなり詰めて議論したけれども、全体のものになっていないという指摘はそのとおりで、次回に、事務局が整理をして、今の状況、問題をみんなの共通認識にすることが大事なことはないですか。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公開の場で、地元さんと突っ込んだ話中々できないので、吉岡委員にも、仲介して頂くことも、もちろんあるんですけども、事務局とか我々も、少し接触を持ってやっていくというのが一番いいと思うのですが。この公開の場で発する前に接触して、どうやっていくか、話し合う形になるかと思えます。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先程の私の読み方と違うんだというご指摘もあって、それはそれで当然だと思うんで、我々が考えてる施設のあり方というものと、今の奈良市の老朽化した施設を、普通の人にはイメージしますから、そう簡単に来ていいですよとならないの</li> </ul>



<p>渡邊委員長代理 佐藤委員 渡邊委員長代理 森住委員 渡邊委員長代理 森住委員 渡邊委員長代理 事務局(森嶋)</p>	<p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次は3月5日金曜日ですが、その次はいつ頃やったらいいんでしょうか？</li> <li>● 4月中旬位どうですか？</li> <li>● 4月14日水曜日をお願い致します。</li> <li>● 吉岡委員と行ける人をあらかじめ聞いておいた方がいいんじゃないですか？</li> <li>● 立候補して頂きたいんですけど。吉岡委員と共に、地元と何回か顔を合わせて話がしてみたい方。</li> <li>● 行かせてもらいます。</li> <li>● 森住委員、安田委員、田中(啓)委員それから吉岡委員。私、全部行けないかもしれないですが、ご挨拶に行かせてもらいたいと思います。これで終わります。</li> <li>● 皆様方には長時間に渡りご審議を頂き誠にありがとうございました。尚次回は3月5日金曜日の開会でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。</li> </ul>
---	--